

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和7年12月

1 青年農業者、課題解決に向けた取り組みを発表

11月27日、喜界町自然休養村管理センターにおいて、大島地区農業青年クラブ連絡協議会主催の青年農業者会議が開催され、青年農業者、指導農業士、女性農業経営士、関係機関等33名が参加しました。会議では、1名による意見発表、1名によるプロジェクト発表及びプロジェクト実践ほ場の視察研修が行われました。地区指導農業士会会长の講評では、課題解決に向けた意欲的な姿勢が高く評価されました。農政普及課では、引き続き青年農業者の課題解決に向けた支援を行っていきます。



青年農業者会議の様子

2 製糖期に向けてオペレーター安全研修会を開催

12月8日、奄美市笠利町農村環境改善センターにおいて、製糖開始を前に、さとうきびハーベスターを対象とした安全研修会が開催されました。農政普及課では、農作業安全事故事例の紹介と対策、事故を減らすための工夫について講義を行いました。その後、屋外においてハーベスターが実機を用い、よくある修理事例と故障や不具合を未然に防ぐための対策を紹介しました。前期に引き続き2年連続の事故のない製糖期に向けて、安全意識を高める機会となりました。



屋外での研修の様子

3 女性農業者が苔玉づくりで喜界島の消費者と交流

12月14日、奄美大島と喜界島の若手女性農業者組織 komorebi が喜界町生涯学習フェスタのマルシェに出店し、苔玉づくりなどを通じた消費者との交流と組織活動のPRを行いました。苔玉づくりは、土に触れ、植物を育てる経験を通じて子供たちが農業に興味を持つきっかけになればと、komorebi会員のアイデアから生まれた企画です。今回の実施に向けて、奄美大島と喜界島の会員がオンラインで打ち合わせを重ねてきた成果が発揮され、組織の一体感を高める取組みとなりました。



消費者と交流する komorebi 会員

4 喜界島で女性農業者が語るタペ「農女トーク」を開催

12月14日、奄美大島と喜界島の若手女性農業者組織 komorebi が「農女トーク」と題した女性農業者交流会を喜界町役場で開催し、奄美大島から4名、喜界島から10名が参加しました。交流会はワールドカフェ方式で軽食を食べながら、日焼け対策やライフワークバランスなど、農業女子ならではのトークで盛り上りました。農政普及課では、今回の交流をきっかけとした女性農業者のネットワーク拡大が、地域農業の活性化や女性農業経営士の育成につながるよう支援していきます。



楽しく語り合う女性農業者の皆さん

5 「お肉が食卓にあがるまで」女性農業者が小学校で食育出前授業

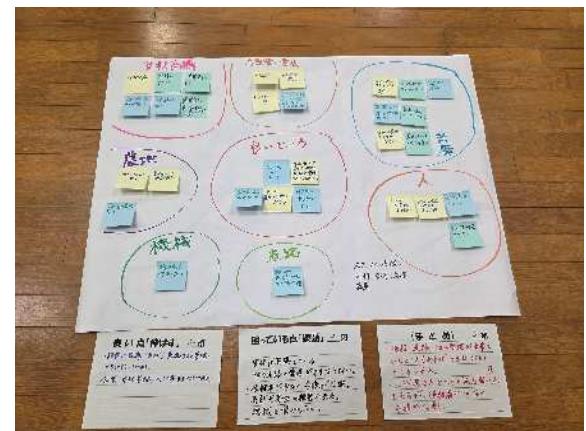
12月15日、奄美大島と喜界島の女性農業者組織 komorebi が、喜界町立早町小学校の5、6年生21名を対象に、肉用牛に関する食育出前授業を行いました。出前授業で使用したスライドなどは、会員自らがそれぞれの経営や視察研修で集めた情報から作成したオリジナルです。牛肉が食卓に上がるまでに多くの人が関わり、大切に育てられていることを子供達に伝えました。農政普及課では、女性農業者の新たな活動展開を引き続き支援し、女性農業者のリーダー育成に繋げていきます。



食育出前事業の様子

6 地域課題解決に向けて喜界町で地域計画話し合いが実施される

10~11月にかけて、喜界町の9地区において、地域の抱える課題を再確認するための話し合いが行われました。話し合いには関係機関を含む延べ223名が出席し、農業者等の住民をそれぞれ2~3グループに分けてワークショップ形式で話し合いました。課題に加えて地域の良い点について自由に意見交換が行われ、担い手の不足や農地の改善等様々な意見が出されました。今後、取りまとめ・分析を行い、課題解決を図るうえでの基礎資料として検討を進める予定です。



喜界町地域計画協議における
意見まとめ